

平成 20 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 ステラ・グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 善健
(コード番号8206 大証 2 部)
問合せ先 総務人事部長 津田 由行
Tel (03) 5425-2511

特別損失の計上および 平成 21 年 2 月期中間期ならびに通期業績予想（連結・個別）修正 に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 2 月期中間期（平成 20 年 3 月 1 日から平成 20 年 8 月 31 日まで）決算において、下記のとおり特別損失を計上することといたしました。

これらに加え、本日発表されました当社連結子会社株式会社プロジェ・ホールディングス（以下「プロジェ」）の特別損失の計上および業績予想修正、ならびに最近の当社および当社グループ各社の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月期中間期ならびに通期（平成 20 年 3 月 1 日から平成 21 年 2 月 28 日まで）業績予想につきまして、平成 20 年 4 月 15 日に発表いたしました業績予想（連結・個別）を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、子会社株式の株価等、一部見込計上に基づく業績予想修正であり、平成 21 年 2 月期中間期末日（平成 20 年 8 月 31 日）以降、改めて開示が必要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

<個別>

当社単体（個別）につきましては、平成 21 年 2 月期中間期において、以下の特別損失を計上することといたしました。

なお、本件はいずれも金銭の直接支出を伴わないものである旨、念のため申し添えさせていただきます。

①子会社株式評価損 1,183 百万円（個別のみ計上）

当社貸借対照表における株式の資産額に対する時価の下落率が激しいものについては、当社会計基準に基づき、減損処理を行います。

当社が保有する株式のうち、本資料発表日前日（平成 20 年 8 月 21 日）終値時点で、連結子会社であるプロジェ（大証・名証 2 部、コード番号 3114）株式は下落率 50%を超えているため、株式会社オーエー・システム・プラザ（JASDAQ、コード番号 7491、以下「OA」）株式は下落率 50%を超えてはおりませんが、当社内にて検討の結果、今中間決算期末において両社株式の減損による評価

損の計上を行うことが適切であると判断いたしました。そのため、当社単体決算（個別）において、子会社株式評価損 1,183 百万円（プロジェ株式 854 百万円、0A 株式 329 百万円）を特別損失として計上いたします。

なお、この子会社株式評価損は、本資料発表日前日（平成 20 年 8 月 21 日）終値に基づいており、実際には平成 21 年 2 月期中間期末日（平成 20 年 8 月 31 日。但し、同日は日曜日のため、実際には 8 月最終営業日である平成 20 年 8 月 29 日）終値を基に減損額を算出するため、株価の変動により、改めて開示が必要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

②投資有価証券評価損 95 百万円（個別・連結共に計上）

「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券について、上場株式については当社貸借対照表における株式の資産額に対する時価の下落率と今後の証券市場における株価動向を勘案し、非上場株式については当該会社の財務内容を検討した結果、今中間決算期末において株式評価損の計上を行うことが適切であるとの結論に達し、投資有価証券評価損として計上することといたしました。

(A)平成21年2月期中間期 投資有価証券評価損の総額（見込）	95百万円
(B)平成20年2月期の純資産額 (A/B×100)	3,312百万円 (1.9%)
(C)最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	53百万円 (118.9%)
(D)最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	192百万円 (32.8%)

- (注) 1. 当社単体にて保有している投資有価証券に係るものであります。
2. 平均額については、平成17年2月期、平成19年2月期および平成20年2月期の経常利益および当期純利益がマイナスのため、当該数値は0として算出しております。

③貸倒引当金繰入 150 百万円（個別のみ計上）

当社連結子会社である株式会社エルメについては、同社の純資産額の減少と今後の回復可能性を検討した結果、同社に対する当社貸付金について、貸倒引当金繰入の計上を行うことといたしました。

<連結>

上記個別における特別損失「②投資有価証券評価損 95 百万円」に加え、本日発表されましたプロジェの特別損失（連結）の計上に伴い、当社連結決算においてもプロジェの特別損失（連結）がそのまま反映されることとなります。

プロジェの特別損失（連結）の内訳

たな卸資産評価損	約 1,709 百万円
貸倒引当金繰入額	325 百万円
事務所移転損失	約 67 百万円
計	約 2,101 百万円

※プロジェの特別損失（連結）の計上の詳細につきましては、本日発表されましたプロジェの「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 平成21年2月期 中間期（平成20年3月1日から平成20年8月31日まで）業績予想数値の修正

<連結>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当り 中間純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月15日発表)	13,845	△4	△13	△60	△0円25銭
今回修正予想 (B)	9,300	△990	△1,050	△1,850	△7円71銭
増減額 (B-A)	△4,545	△986	△1,037	△1,790	-
増減率 (%) (B-A) / (A)	-	-	-	-	-
前中間期 (平成20年2月期中 中間期) 実績	17,910	△69	△199	△1,455	△8円70銭

連結業績予想修正の主な要因といたしましては、連結子会社であるプロジェが不動産市況の急激な変化の影響を受け、今回売上・利益共大幅な下方修正を行ったことによります。

また、損益面におきましては、婦人子供服販売事業を行っている株式会社エルメが、昨今の個人消費減退の影響を受け、収益面で苦戦を余儀なくされたことも修正要因であります。

なお、0A (グループ) につきましては、本資料発表日 (平成20年8月22日) 現在、業績予想の修正を行っていないため、本件連結業績予想においては、同社が平成20年4月15日に発表した業績予想を基にしております。

<個別>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当り 中間純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月15日発表)	61	△136	△160	△101	△0円43銭
今回修正予想 (B)	40	△140	△128	△1,515	△6円31銭
増減額 (B-A)	△21	△4	32	△1,414	-
増減率 (%) (B-A) / (A)	-	-	-	-	-
前中間期 (平成20年2月期 中間期) 実績	67	△177	△193	△3,367	△20円13銭

個別業績予想修正の主な要因については、上記の当社の特別損失 (個別) の計上によるものであります。

3. 平成21年2月期 通期（平成20年3月1日から平成21年2月28日まで）業績予想数値の修正

<連結>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月15日発表)	25,621	190	138	26	0円11銭
今回修正予想 (B)	18,600	△1,310	△1,400	△1,750	△7円29銭
増減額 (B-A)	△7,021	△1,500	△1,538	△1,776	-
増減率 (%) (B-A) / (A)	-	-	-	-	-
前期 (平成20年2月期) 実績	35,474	△651	△938	△5,958	△35円34銭

連結業績予想修正の主な要因は、上記中間期業績予想修正の主な要因に加え、当社単体（個別）におきまして、当初平成 20 年 4 月 15 日発表時点では、当時締結しておりましたベルリバーファイナンス株式会社との資本・事業提携に基づき、同社主導による新規事業を下半期に見込んでおりましたが、具体的な進捗のないまま同社との提携が解消となったため、本件においてはその分の修正を行ったことによります。

<個別>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月15日発表)	309	△70	△81	17	0円07銭
今回修正予想 (B)	79	△250	△233	△1,620	△6円75銭
増減額 (B - A)	△230	△180	△152	△1,637	—
増減率 (%) (B - A) / (A)	—	—	—	—	—
前期 (平成20年2月期) 実績	119	△280	△319	△8,477	△50円28銭

個別業績予想修正の主な要因は、ベルリバーファイナンス株式会社との資本・事業提携に基づく新規事業が、具体的な進捗がないまま提携解消となったことにより、売上高・営業利益・経常利益が減少する見込みであり、また上記記載の当社の特別損失（個別）の計上となったことによります。

4. 今後について

本件特別損失ならびに業績予想の修正につきましては、上場株式の株価等、一部見込計上に基づくものであり、平成 21 年 2 月期中間期末日（平成 20 年 8 月 31 日）以降、改めて開示が必要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

また、今後の当社グループの事業再構築につきましては、現在検討中であり、確定いたしましたら、速やかにお知らせいたします。

以上

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する前提・見通し・計画に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変化する可能性がありますので、これら業績等の予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。